

## 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

### 事業名 パラスポーツ活性化推進プロジェクト事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 地域スポーツ課 地域・パラスポーツ振興係 電話番号：058-272-1111(内2622)

E-mail：c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 288 千円 (前年度予算額： 588 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	588	0	0	0	0	0	0	0	588
要求額	288	0	0	0	0	0	0	0	288
決定額	288	0	0	0	0	0	0	0	288

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・障がい児・者が、居住地域において気軽にスポーツがしたくても、様々な理由から受け入れに消極的な団体が多く、その環境が整っているとは言い難い。
- ・また、学校部活動や少年団、地域のクラブの指導者が障がいの知識や指導法を学ぶ機会が少ない。
- ・これらの課題を解決するため、地域のスポーツ指導者が障がいに関する知識や指導法を学び、各種スポーツ団体や障がい者団体等と情報交換を行う研修会を開催することで、障がい者の受け入れが可能な団体を確保し、障がい児・者が身近な地域で気軽にスポーツに親しむことができる環境を整備する。

### (2) 事業内容

- ・障がい児・者(発達障がい、軽度知的障がい)の理解と指導法、情報交換のための研修会 \*資格取得講習ではなく、地域のスポーツ指導者を対象とした研修会

### (3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

県内でのパラスポーツの裾野拡大には、必要不可欠な事業であるとする。

### (4) 類似事業の有無

有

障がい者スポーツ大会開催事業費（パラスポーツ指導員養成）【障害福祉課】

「初級パラスポーツ指導員養成講習会」

パラスポーツ研修会【障害福祉課】

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	98	講師交通費、事務局打合せ、事務局運営
報償費	92	講師謝金
需用費	31	消耗品費（事務用品）、印刷製本費（広告チラシ）
使用料及び賃借料	57	会場使用料
役務費	10	通信運搬費（郵便料）
合計	288	

## 決定額の考え方

## 4 参 考 事 項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県清流の国スポーツ推進条例 第12条
- ・岐阜県障がい者総合支援プラン(障がい者スポーツの充実)
- ・清流の国ぎふスポーツ推進計画(障がいの活躍を広げるパラスポーツの推進)

### (2) 事業主体及びその妥当性

- ・パラスポーツの裾野拡大のため、県が主体となって行う研修会である。障がいのある方が身近な地域で気軽にスポーツに親しむことができる受け皿の確保が必要である。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

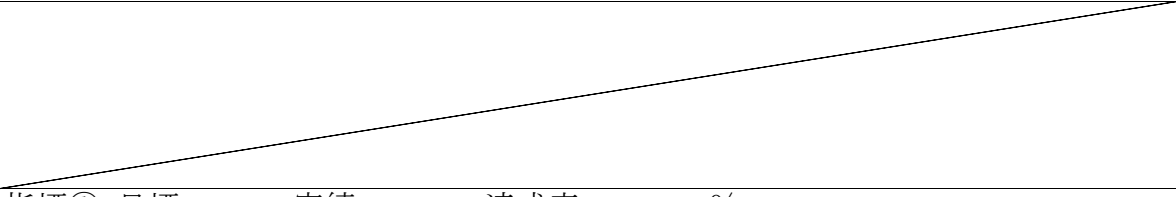
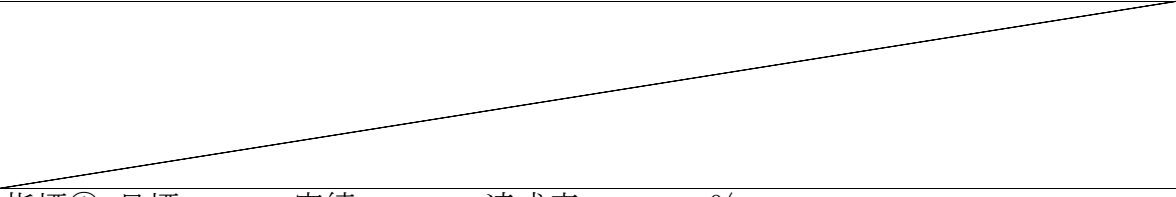
・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

R 8 までに研修参加者数を450名以上とし、多くの地域スポーツ指導者が障がいに関する知識と指導法を学ぶことで、各地域における障がい児・者の受け入れ環境の拡大を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R )	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8累計)	達成率
①参加者数		68	150	150	450	15%

### （これまでの取組内容と成果）

令和 4 年度	 <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>
令和 5 年度	 <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>
令和 6 年度	<p>・県内全地区を対象に年3回開催。地域でスポーツ指導に携わる団体の職員や指導者を対象に、障がいに関する知識を深めていただき、一人でも多くの障がい児・者がスポーツに親しむことができる体制を整備した。</p> <p>指標① 目標：<u>150</u> 実績：<u>68</u> 達成率：<u>45</u>%</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<b>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)</b> 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	障がいのある方が身近な地域で気軽にスポーツに親しむためには、障がいに関する知識や指導法を持つ指導者と受け皿となるスポーツ団体が必要である。
<b>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</b> 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	岐阜会場の参加者数は概ね目標値に近い人数であったが、中濃・東濃地区は低調であった。より参加者を増やすための効果的な手法の検討が必要である。
<b>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)</b> 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	スポーツ指導者は平日の夜や休日に活動される方が多いため、各自の都合に合わせて受講できる環境の整備が必要である。

### (今後の課題)

<b>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</b> ・会場（地区）により参加者数に偏りがみられた。 ・各団体の活動や試合等の都合により参加したくてもできない指導者がいた。
--

### (次年度の方向性)

<b>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b> 少年団、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員、小・中・高の教員、福祉施設の職員へも周知することで参加者を増やし、県内における障がい児・者のさらなる受け入れ環境の拡大を図る。
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	